

はじめに

本報告は、公的年金各制度の平成 26 年財政検証・財政再計算に関し、安定性の観点から財政検証（ピアレビュー）した結果を示したものである。

厚生労働省社会保障審議会年金数理部会は、平成 13 年 3 月の閣議決定「公的年金制度の一元化について」等の要請を受け、「被用者年金制度の安定性及び公平性の確保に関し、財政再計算時における財政検証（ピアレビュー）」及び「毎年度の報告を求めること」を行ってきた。

平成 26 年財政検証・財政再計算は、平成 16 年改正財政フレームの下、平成 27 年 10 月の被用者年金一元化を前提として行われている。このため、当部会における財政検証（ピアレビュー）では、これまでの各制度の財政の安定性、制度間の公平性といった観点にかえて、公的年金の安定性を「持続可能性と給付の十分性が、将来にわたり、ともに保たれている状況にあること」と定義し直し評価することとし、特に、実施機関ごとに、将来にわたり積立金が枯渇することなく給付を確実にできることや、厚生年金の安定性については基礎年金の給付水準を決定する国民年金の安定性が併せて確保されることに着目して行ったところである。

なお、平成 16 年改正財政フレームの導入以来、「財政検証」という言葉は厚生年金、国民年金の財政検証（少なくとも 5 年ごとに行われる財政と現況の見通しの作成）を指す場合が多くなっているため、元々、平成 13 年の閣議決定により「財政検証」と表してきた当部会の検証を、今後は「財政検証（ピアレビュー）」または単に「ピアレビュー」と表記することにより両者を区別することとした。

本報告書での分析やデータが、今後の年金制度の財政の安定性及び公平性の確保に寄与するとともに、一元化をはじめとする公的年金制度改正の検討に資すれば幸いである。

